

エンティティ詳細設計書記載ルール

ファイル名 ※拡張子は「. java」である	ファイル名
対応するデータベーステーブル	テーブル名
所属パッケージ名	パッケージ名フルネーム

特記事項

特記事項内容

特記事項内容

特記事項内容

特記事項内容

実装インターフェース

インターフェース名

使用列挙型

列挙型名

実装メソッド

メソッド名

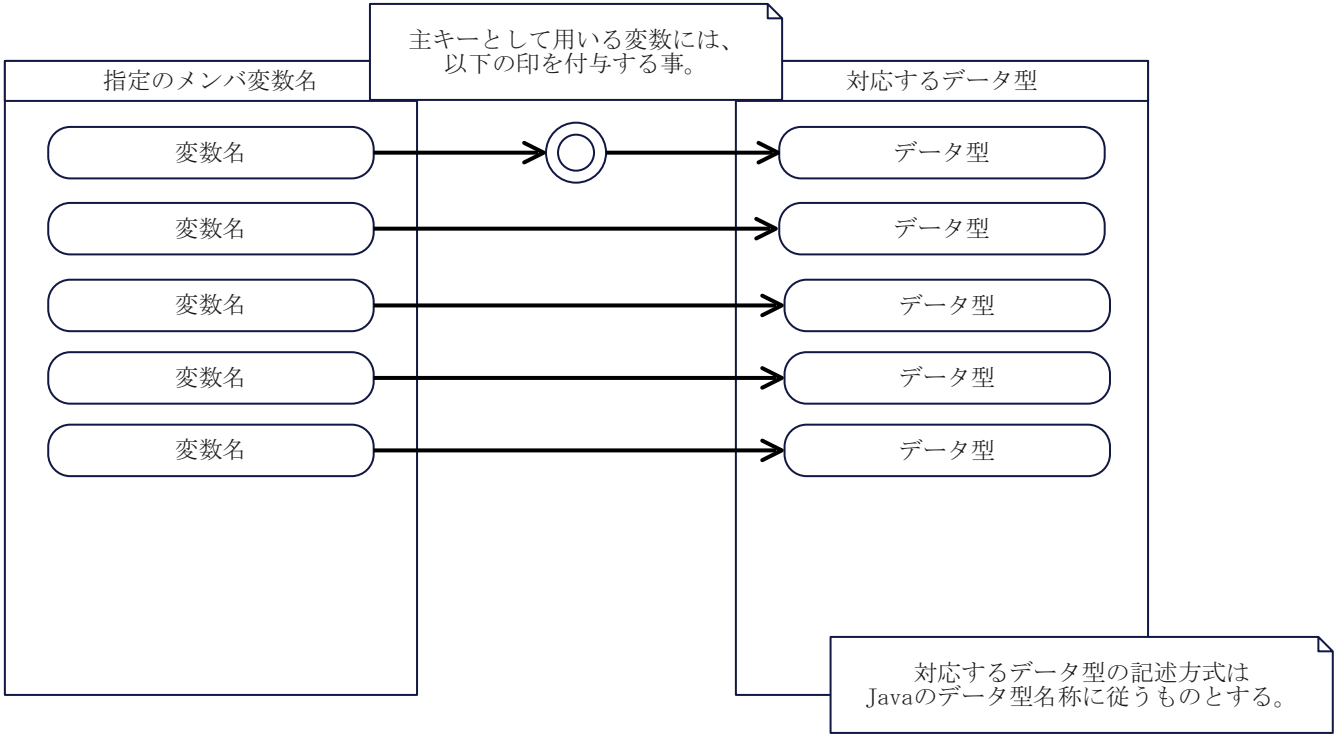
メソッド名

機能概要

機能概要

機能概要

機能概要



記述の際の注意点

- メソッドに「引数の数」や「引数の型名」、「ローカル変数名」等は**記述しない事**。
これらは、開発の過程で、プログラマの裁量により多くの頻度で変更になる恐れがあるため、変更に多くの工数を費やすためである。**メソッドは、「メソッド名のみ」にとどめておく。**
- プログラマの裁量に任せられる部分は**記述しないこと**。事細かく書かなくても、プログラマには分かるため、詳しく書くために工数を費やす必要はないためである。
- 使用するアノテーション名などは、具体的には**書かないこと**。（開発の過程で多少の変更が多々あるため。）
「どういった機能を付与したいのか」を文章で最低限に記述する事。
付与したい機能さえ把握できれば、使用するアノテーションはプログラマが選定してくれるからである。